

長者町 アートアニュアル 実行委員会

団体名・概要

長者町アートアニュアルは、長者町界隈がまちなか会場となった「あいちトリエンナーレ 2010」会期終了後も、アートまちづくりを継続していくために、まちの有志で結成された任意団体です（2010年11月発足）。

発足以後、まちの夏祭り「長者町大縁会」を新たに生み、秋には地元のお祭り「ゑびす祭り」にて山車（作品）を毎年運行しています。一方、年間を通じ、アーティストの制作空間「長者町スタジオ」や滞在空間「長者町アーティストインレジデンス」の運営を始めるなど、イベントからプラットフォームづくりに至るまで各団体と協働しながら、多様な役割を担おうとしています。

長者町に新たに生まれた拠点の看板やインフォメーションラックの制作と、「あいちトリエンナーレ 2013」をお迎えするにあたり、オープンスペースの乏しいまちに、ほっと一息つけるようなベンチを制作・設置する活動に、まち夢工事助成をいただき進めてまいりました。

1 定例会の実施

- ベンチの設計内容について
- ベンチの施工・組立てについて
- ベンチの設置場所について
- 看板のデザインについて
- ラックの仕様について など

2 ベンチの制作・組立・設置

工程すべてを施工業者に発注するのではなく、長者町の抱える課題への気づきとまちづくりの担い手意識を育む観点から、地元のまちづくりメンバーやアーティスト、トリエンナーレスタッフ、若者、長者町ファンなど多様な主体を巻き込みながら、制作や組立、設置までを行いました。



3 看板、インフォメーションラックの設置

新たに運営をはじめた各拠点の看板や、長者町の各情報を来街者に発信するインフォメーションラックを制作・設置しました。ラックのチラシを見てイベントに初参加する方が増えるなど、ラックの効果が出はじめています。



4 今後の展望

ベンチや看板、ラックなどができたことは目にみえる活動の成果ですが、特にベンチの制作から設置までの準備期間も含めた二年間のプロセスは、担い手の育成やまちへの関心喚起に大いにつながったと感じています。

この一連の流れを長者町だけの財産にするのではなく、名古屋市の各地域へ積極的に発信・交流し、広げていきたいと思っています。